

深い学びを実現する振り返り活動の実践的研究

～自分の思いや考えを捉え直すことを手がかりに～

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 小学校教育指導系

畝部 響子

自己の学びの自覚を促す「振り返り」の質を高めることは、深い学びの実現をめざす授業に関わるだろうと考えている。本研究では振り返り活動を改善することで、子どもたちが自分の思いや考えを捉え直しているかを明らかにし、深い学びを実現することを目的とした。

先行研究等から、振り返りの視点、授業構成による振り返りの時間の確保と工夫、振り返りシートの工夫の重要性を見い出した。そこから具体的手立てを構想・工夫し、同一学年において2教科の実践を行い、分析・考察を行った。

本研究を通して、振り返り活動において、視点や書き方の工夫をし、客観的に自己理解度を見つめることで、学習内容を自分なりに落とし込み、自分の思いや考えを捉え直し、他教科や実生活につなげて深く学ぶことができることを明らかにした。また、子どもの興味・関心の持続や発達段階に合わせた振り返りの視点を示していくことについて課題が残った。今後も子どもたちの深い学びを実現する授業改善を重ねていく。